

今月の一言

キーワード：一座建立（いちざこんりゅう）

8月21日にホテル日航金沢で開催された、「北陸タイガース総会」。阪神タイガースの応援団ではありません！吉野石膏の北陸の会です（笑）講演会も開催され、ビジネスイメージコンサルタント(株)WORDROBE・小西敦子氏の最後言葉に、「いつも、「一座建立」こんな思いで仕事に望んでいます」とお話をされました。小西さんはフリーアナウンサーとして20年以上、話す仕事に携わり、テレビ・ラジオのパーソナリティのほか、コーディネーター、パネリストとして石川県を中心に活躍しておられる素敵なお人でした。

意味としては、茶道で主客に一体感を生ずるほど充実した茶会となること。茶会の目的の一つとされています。具体的には、お客さまを招く時には、できる限りのことをしてあげようと工夫します。簡単なようで意外と難しく奥の深いことですが、これにより招いた者（亭主）と招かれた客の心が通い合い、気持ちのよい状態が生まれます。このことを「一座建立」といい、茶道では、とても大切にします。同じ意味をあらわす語で「一期一会」があります。一期は一生、一会はただ一度の出会いです。茶席で、たとえ何度同じ人々が会するとしても、今日の茶会はただ一度限りの茶会であるから、亭主も客もともに思いやりをもって取り組むべきと教えています。このような気持ちを持ってさえいれば、茶道は楽しいものです。まずは、一服（いっぷく）を楽しんで飲むことが大切です。

得意先・仕入先の担当者が同じでも、決して忘れてはいけない行動と気持ちですね。一座建立！

2014年8月25日

さいのう とある

追伸：残暑は、もう少し続きますが「夏バテに注意」して下さい。